

# 発達特性のある学生の 「困り感」実態調査

日本財団

<b>調査背景 目的</b>
<b>調査課題</b>
<b>調査手法</b>
<b>調査対象者</b>
<b>調査時期</b>

近年、大学生生活に馴染めない、アルバイトが続かない、就職活動をしていても内定が得られないなど、学生生活や就職活動に困難を感じている学生が増加していると言われていています。それらの学生は大学を中退したり、就職後短期間で退職するケースも多く、ひきこもりに繋がることもあるとされている。学生の中には、発達障害の診断を受けていたり、いわゆる発達障害グレーゾーンと呼ばれる学生も多いと推測されていますが、多くの方は障害者手帳を持たないため公的な支援を受けておらず、その実態は明らかになっていない。このような状況を踏まえ、国内における就職活動や学生生活に困難を感じている学生の実態を把握し、具体的な困難の内容を明らかにし、適切な支援策を検討するために、当調査を実施した。

1. 発達特性がある（学校生活・日常生活に困難のある）若者のボリュームを把握する
2. 発達特性がある学生の生活や就職活動の困難の実態・意識を把握する

Web定量調査

- 【一次調査】 全国居住、20～25歳男女
- 【二次調査】
  - ・ 大学3・4年生（6年制の場合5・6年生）/大学院生/大学を卒業・中退して2年以内
  - ・ 就職活動の経験がある
  - ・ 一次調査の「学校生活／日常生活における困りごと」が6つ以上あてはまった人 ※次ページ参照
- サンプル数 ※男女比を補正するため、以下の通りウェイトバック集計を実施

一次調査	有効回収数	WB補正後 サンプル数※1
男性	3,876s	8,853s
女性	13,522s	8,545s
合計	17,398s	17,398s

※1 R.2年国勢調査の構成比に補正

二次調査	有効回収数	WB補正後 サンプル数※2
男性	198s	394s
女性	530s	334s
合計	728s	728s

※2 大学基本調査のR.元年～4年、4年間の男女別大学入学者数に、スクリーニング調査の出現率を掛け合わせて補正後構成比を算出した

2024年11月

## 学校生活での困りごと

1. 必要な単位の把握や履修登録等の手続きが難しく、一人でできなかった
2. 時間割を組むことが苦手だった
3. メンタルの不調で授業に出られないことがよくあった
4. 授業に集中できないことがよくあった
5. 教科書など大切なものを持っていくことを忘れてしまうことがよくあった
6. 授業など大事な予定を忘れてしまったり、遅刻してしまったりすることがよくあった
7. 提出物の期限や授業内で小テストがあることなどを忘れることがよくあった
8. 先生からの指示について、意図や内容が十分に読み取れないことがよくあった
9. レポート提出と個人の予定などの優先順位をつけられずに、レポート提出ができないことがよくあった
10. 人前で発表することがとても苦手だった
11. 黒板に書かれない、先生が話すだけの授業を理解することが難しかった
12. 授業についていくことが難しく、単位をとれないことがあった
13. 授業など長時間座っていなければいけないときに、じっと座っていることが難しかった
14. 手書きで文章を書くことが極端に遅い
15. 教科書や資料を読むことが極端に遅い
16. 計算をすることが極端に苦手
17. 自分の考えをまとめることや言語化することが苦手
18. 大学内で居場所がないと感じていた
19. ゼミなど少人数で話しあうときに、ほとんど話すことができなかった

## 日常生活での困りごと

1. 趣味などに集中しすぎて朝起きることが難しく、大事な予定に支障をきたすことがよくあった
2. 掃除や整理整頓が極端に苦手
3. 周りの人が盛り上がり話しているときに話に入れないことがよくあった
4. 知り合いの発言などにかっとしてしまい、大きな声を出してしまうことがあった
5. ストレートすぎる物言いをしてしまい、話している相手に不快な思いをさせてしまうことがあった
6. 自分の発言で周りの人が黙ってしまうことがよくあった
7. 悩み事を話せる友人がいなかった
8. 自分に自信がない
9. アルバイトをしたかったが、嫌な思いをするかもしれないと思い、できなかった
10. アルバイトで、ミスをしてしまうことが多く、注意されることがよくあった
11. アルバイトで、指示された内容がわからずに戸惑ってしまうことがよくあった
12. アルバイトで、複数の指示をこなすことができずパニックになることがあった
13. アルバイトを、閉店など雇用側以外の理由で、クビになったことがある

# 1. 困り感の強い若者の概要と それぞれの困り感

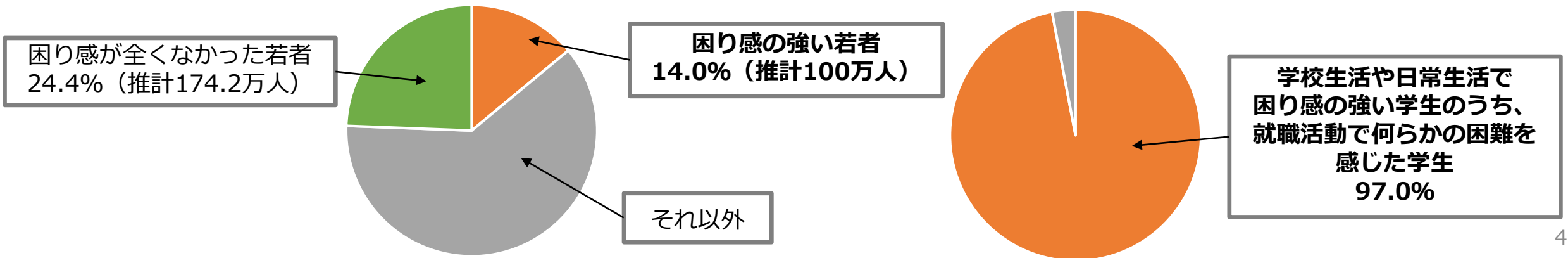
# 1-1. 困り感の強い若者の概要

- 困り感が強い若者（困り感が8個以上あてはまった人）は14.0%、  
 全国の20～25歳の推計100万人

困り感が強い＝「発達障害」や「グレーゾーン」などと日本財団が定義するものではありません

一方、困りごとの個数別のトップは、一つもあてはまらない人で24.4%

- 就職活動で苦労している学生は、就職活動だけではなく、学校生活や日常生活で既に困り感を感じている
  - 学校生活や日常生活で困り感の強い学生の97.0%が、就職活動で何らかの困難を感じていた
  - 一方、全体では、25.3%が就職活動で全く困り感を感じていない

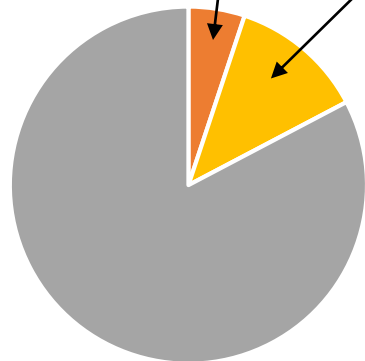


# 1-1. 困り感の強い若者の概要

- 医療機関等で発達障害の診断をされたことがある人は5.1%、診断はされていないが自分で「あてはまると考えられる」と回答した人は12.2%で、合計17.3%  
全国の20~25歳の推計は、診断をされたことがある人が約36.4万人、あてはまると考えられる人が約87.1万人

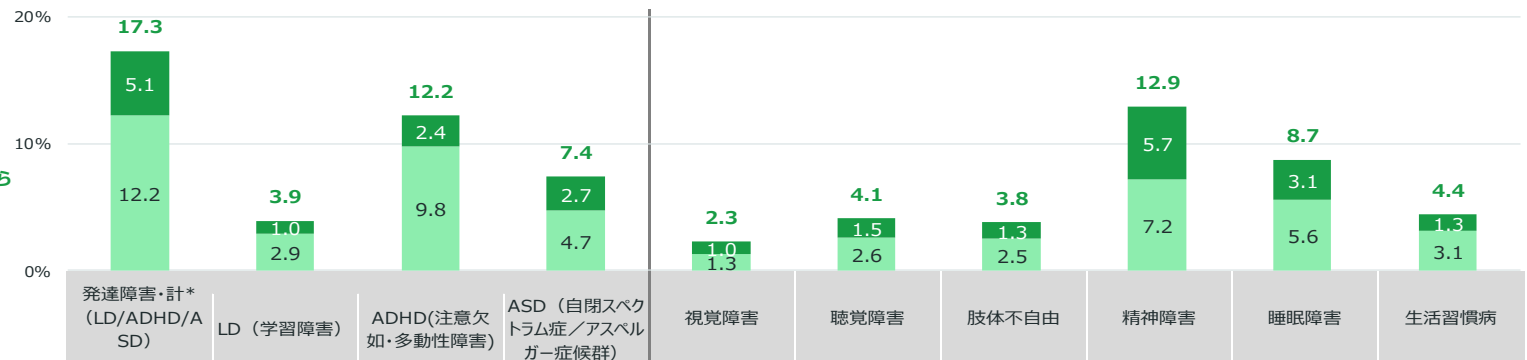
発達障害の診断をされたことがある  
5.1% (推計36.4万人)

発達障害  
自分で「あてはまると考えられる」  
12.2% (推計87.1万人)



n=(15,787)

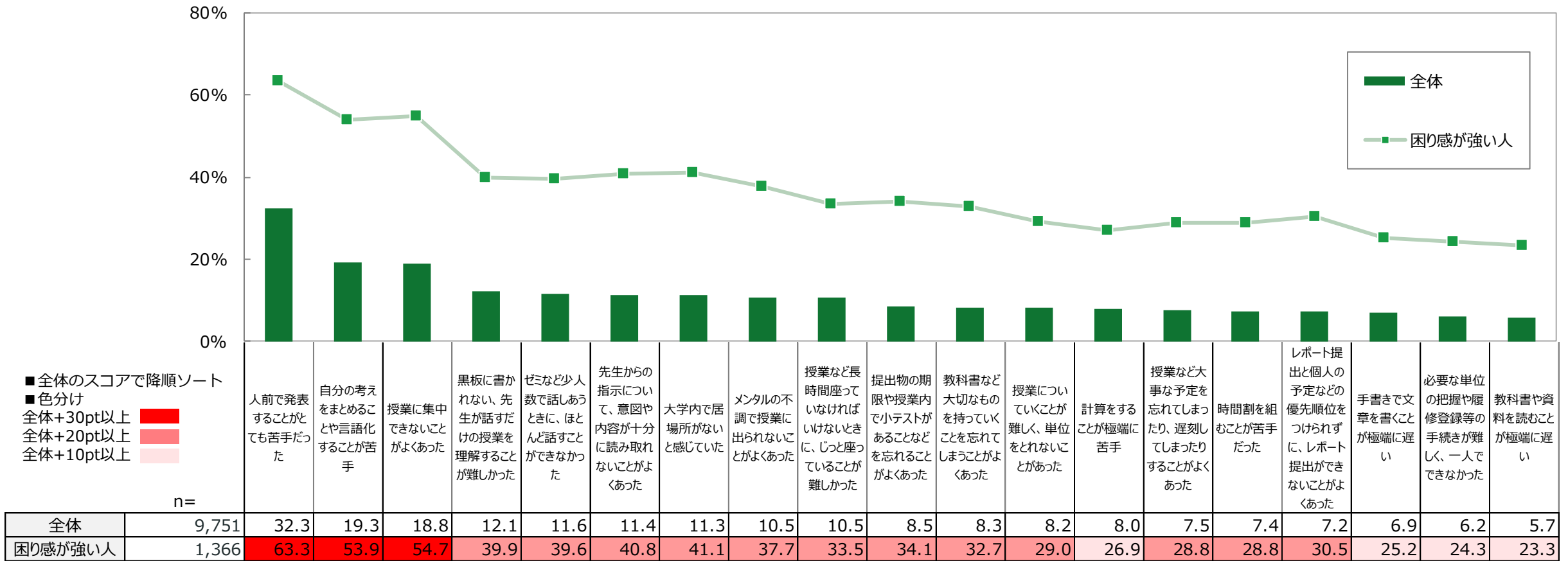
■ 診断あり  
■ あてはまると考えられる  
■ 診断+あてはまると考えられる



※診断とあてはまると考えられるの両方に回答した場合は、「診断あり」としている  
※「答えたくない」と回答した人は母数から除外  
※ LD、ADHD、ASDいずれかの該当者。複数に回答した人がいるため、単純合計と発達障害・計は一致しない

# 1-2. 学校生活での困り感

Q あなたは学生生活において、以下のようなことを感じたり、経験したことがありますか。(MA)



## 1-2. 学校生活での困り感

### 【特徴的な困り感】

#### コミュニケーションに関して

- 「人前で発表することが苦手」「自分の考えの言語化が苦手」は、困り感の強い人は全体と30pt以上の差がある
- 「話し合うときにほとんど話せなかった」全体で11.6%、困り感の強い人は39.6%
- 「大学内で居場所がないと感じていた」全体で11.3%、困り感の強い人は41.1%

#### 時間割や履修登録に関して

- 「時間割を組むことが苦手だった」全体で7.4%、困り感の強い人は28.8%
- 「必要な単位の把握や履修登録等の手続きが難しく、一人でできなかった」全体で6.2%、困り感の強い人24.3%



## 1-2. 学校生活での困り感

### 物忘れに関して

- 「提出物の期限などをよく忘れる」全体8.5%、困り感の強い人34.1%
- 「教科書など大切なものをよく忘れる」全体8.3%、困り感の強い人32.7%
- 「予定の忘れや遅刻してしまうことがよくある」全体7.5%、困り感の強い人28.8%

### 学習に関して

- 「話すだけの授業を理解することが難しい」全体12.1%、困り感の強い人39.9%
- 「計算をすることが極端に苦手」全体8.0%、26.9%
- 「手書きで文章を書くことが極端に遅い」全体6.9%、困り感の強い人25.2%
- 「教科書や資料を読むことが極端に遅い」全体5.7%、23.3%

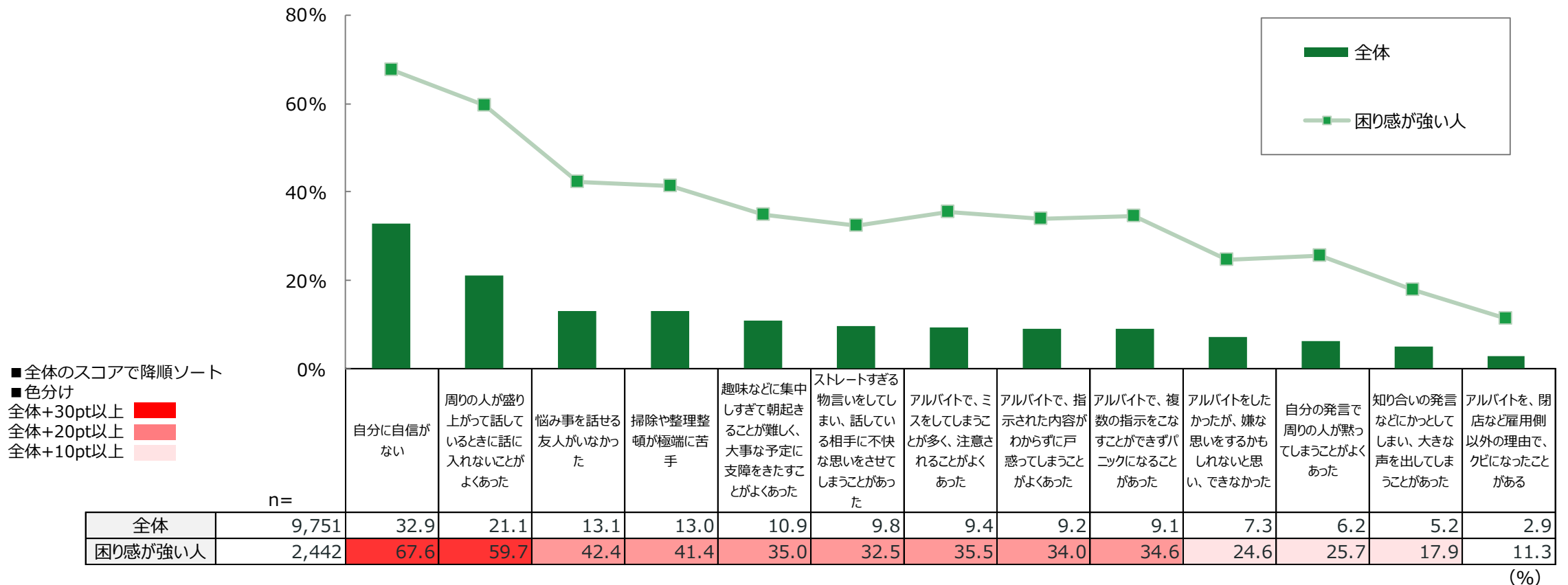
## 1-2. 学校生活での困り感

### 【考察】

- 時間割や履修登録など、入学後、早い段階での困難が見られる
- 「人前で発表が苦手」「自分の考えの言語化が苦手」は、全体でも高く一般的な困難といえるが、困り感の強い人は全体と30pt以上の差があり、強い困難が見られる  
これらは、面接等の就職活動への影響も大きいと考えられる
- 忘れ物など基本的な生活の困り感が一定数みられる
- 大学生にも、学習における困難が一定数みられる

# 1-3. 日常生活での困り感

Q あなたは学生時代に、学校以外の日常生活において、以下のようなことを感じたり、経験したことがありますか。(MA)



(%)

## 1-3. 日常生活での困り感

### 【特徴的な困り感】

#### コミュニケーションに関して

- 「周りの人が盛り上がって話しているときに話に入れないことがよくあった」は困り感の強い人は全体と40pt近い差がある
- 「悩み事を話せる友人がいない」は困り感の強い人は全体と30pt近い差がある
- 「ストレートすぎる物言いで相手を不快にさせてしまうことがあった」全体9.8%、困り感の強い人32.5%
- 「自分の発言で周りの人が黙ってしまうことがよくあった」全体6.2%、困り感の強い人25.7%
- 「知り合いの発言などにかっとしてしまい、大きな声を出してしまうことがあった」全体5.2%、困り感の強い人17.9%

## 1-3. 日常生活での特徴的な困り感

### アルバイトに関して

- 「複数の指示をこなすことができずパニックになることがあった」全体9.1%、困り感の強い人34.6%
- 「閉店など雇用側以外の理由で、クビになったことがある」全体2.9%、困り感の強い人11.3%

### 基本的な生活に関して

- 「掃除や整理整頓が極端に苦手」全体13.0%、困り感の強い人41.4%
- 「趣味などに集中しすぎて大事な予定に支障をきたすことがよくあった」全体10.9%、困り感の強い人35.0%

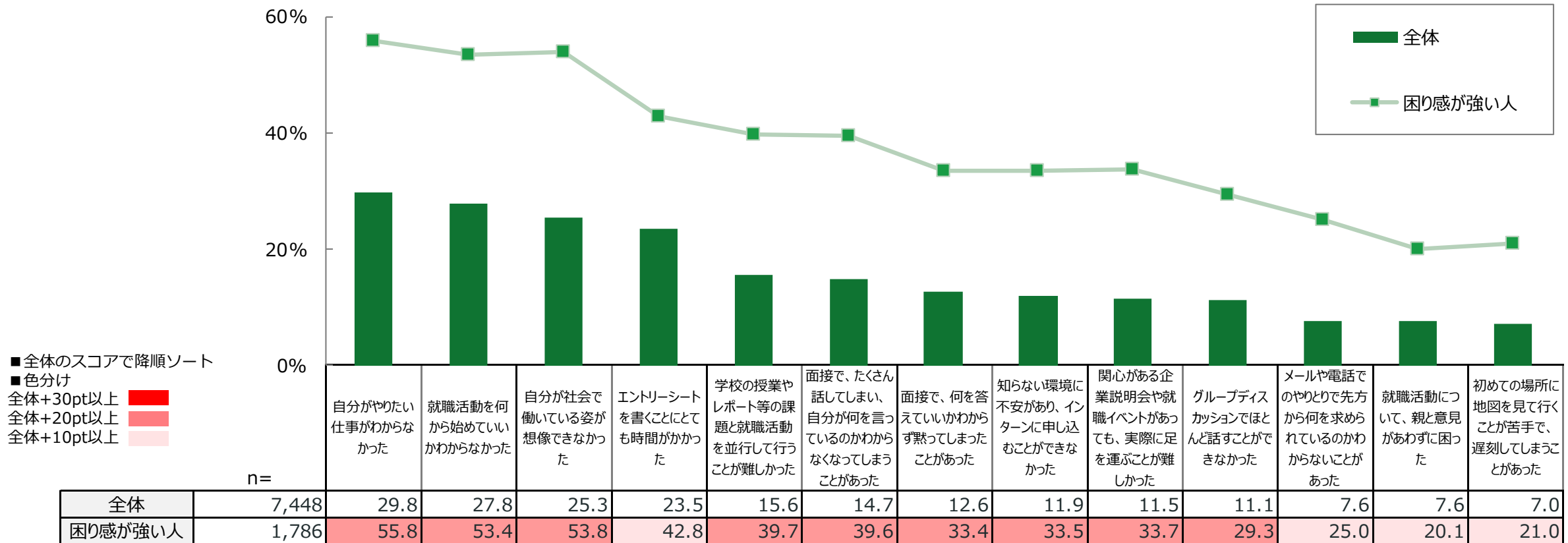
## 1-3. 日常生活での困り感

### 【考察】

- 企業は選考時に学生のコミュニケーション能力の高さを重視していると言われているが、困り感の強い人はコミュニケーションに関連した困難が大きい
- 困り感の強い人のアルバイトに関する困り感は大きく、就労での困難をうかがわせる
- 整理整頓や、「大事な予定に支障をきたすことがよくあった」など、基本的な生活の困り感も、困り感の強い人は大きい

# 1-4. 就職活動での困り感

Q あなたは、就職活動時に以下のようなことを感じたり、経験したことがありますか。(MA)



(%)

## 1-4. 就職活動での困り感

### 【考察】

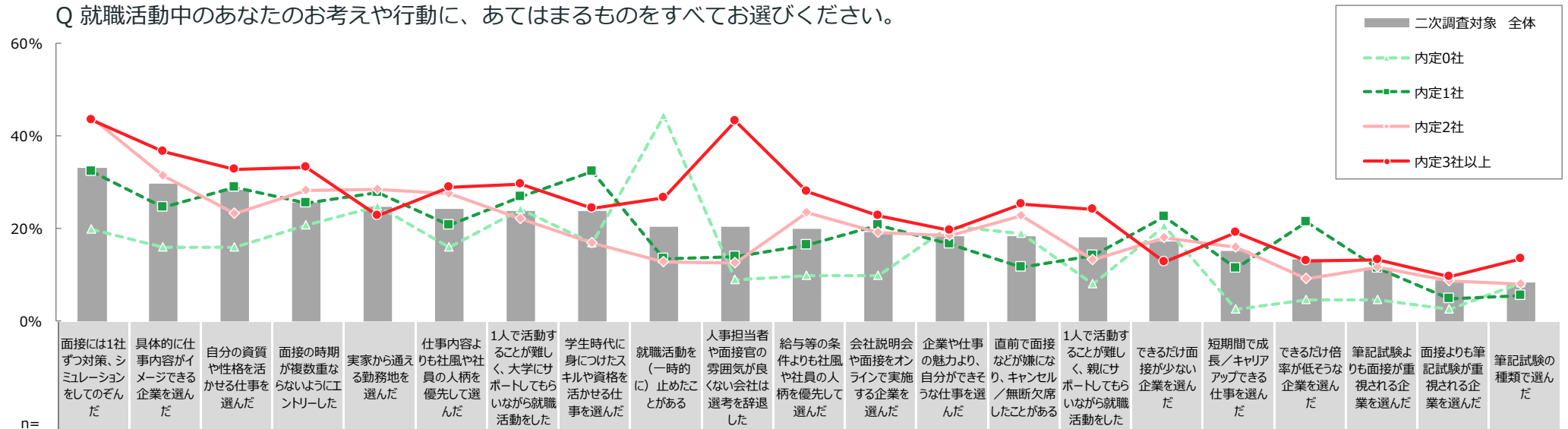
- 就職活動での困りごとは、「自分がやりたい仕事がわからなかった」「就職活動を何から始めていいかわからなかった」「自分が社会で働いている姿が想像できなかった」が、全体でも困り感の強い人でも上位3項目で、具体的な活動に入る前の最初の段階で悩んだり、つまづいた人が多い
- 困り感の強い人は、この上位3項目は全体との差が大きく、一層の困難がうかがわせる
- 面接での困難も、困り感の強い人は全体との差が大きく、困難をうかがわせる



# 1-5. 困り感の強い学生の就職活動

- 困り感の強い学生の就職活動では「直前で面接などが嫌になりキャンセル/無断欠席したことがある」18.3%、「できるだけ面接が少ない企業を選んだ」17.2%、「できるだけ倍率が低そうな企業を選んだ」13.2% という特徴的な消極的考え・行動が一定数見られた

Q 就職活動中のあなたのお考えや行動に、あてはまるものをすべてお選びください。



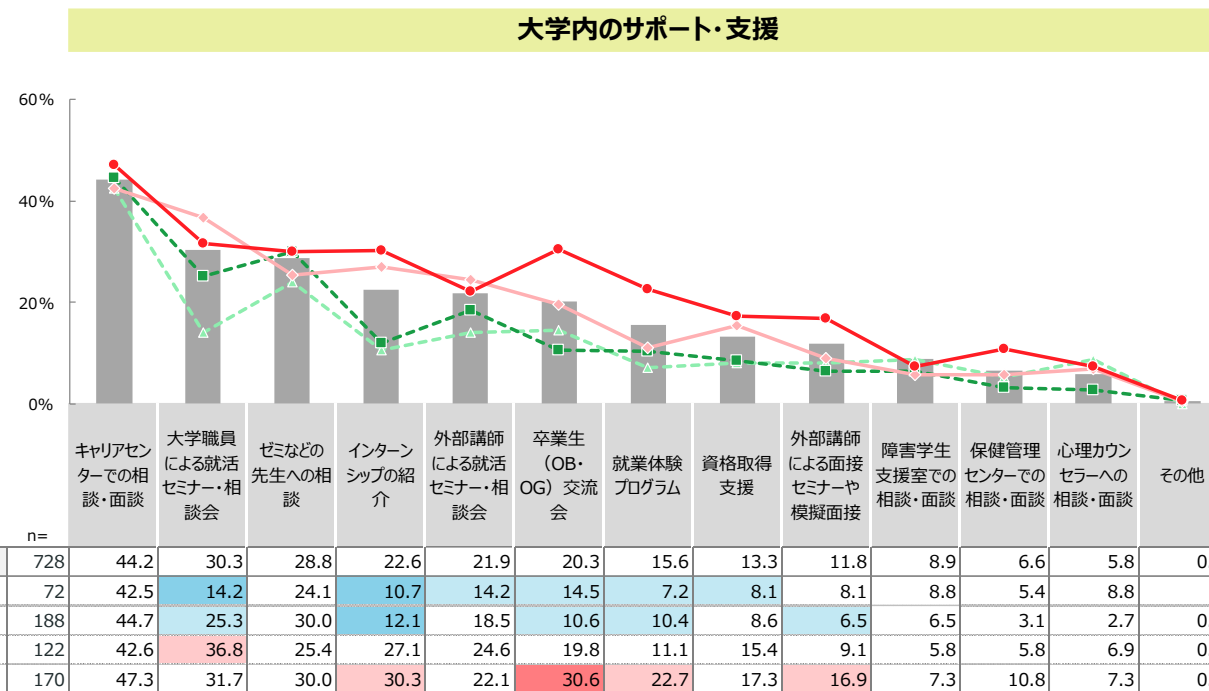
二次調査対象 全体		n=	面接には1社ずつ対策、シミュレーションをしてのぞんだ	具体的に仕事内容がイメージできる企業を選んだ	自分の資質や性格を活かせる仕事を選んだ	面接の時期が複数重ならないようにエントリーした	実家から通える勤務地を選んだ	仕事内容より社風や社員の人が優先して選んだ	1人で活動することが難しく、大学にサポートしてもらいながら就職活動をした	学生時代に身につけたスキルや資格を活かせる仕事を選んだ	就職活動を(一時的に)止めたことがある	人事担当者や面接官の雰囲気が良くない会社は選考を辞退した	給与等の条件よりも社風や社員の人が優先して選んだ	会社説明会や面接をオンラインで実施する企業を選んだ	企業や仕事の魅力より、自分ができそうな仕事を選んだ	直前で面接などが嫌になり、キャンセル/無断欠席したことがある	1人で活動することが難しく、親にサポートしてもらいながら就職活動をした	できるだけ面接が少ない企業を選んだ	短期間で成長/キャリアアップできる仕事を選んだ	できるだけ倍率が低そうな企業を選んだ	筆記試験よりも面接が重視される企業を選んだ	面接よりも筆記試験が重視される企業を選んだ	筆記試験の種類を選んだ
二次調査対象 全体		728	33.2	29.7	28.2	25.5	24.6	24.2	23.8	23.7	20.4	20.4	19.9	19.3	18.3	18.3	18.2	17.2	15.0	13.2	11.5	8.7	8.2
内定社数 (3・5年生 除く)	0社	72	19.7	15.9	15.9	20.7	24.8	15.9	24.2	16.8	44.4	8.8	9.9	9.7	20.6	18.8	8.0	20.6	2.6	4.5	4.5	2.6	8.1
	1社	188	32.3	24.5	28.8	25.4	27.7	20.7	26.8	32.3	13.5	14.0	16.4	20.7	16.6	11.6	14.1	22.5	11.5	21.3	11.3	4.8	5.5
	2社	122	43.9	31.4	23.2	28.1	28.5	27.4	22.0	16.9	12.6	12.5	23.4	19.1	18.5	22.8	13.2	18.0	16.0	9.1	11.7	8.6	8.0
	3社以上	170	43.4	36.6	32.7	33.2	22.8	28.9	29.7	24.4	26.7	43.2	28.1	22.8	19.4	25.2	24.2	12.8	19.1	13.0	13.1	9.5	13.4

※全体のスコアで降順ソート

# 1-5. 困り感の強い学生の就職活動

- 半数近くが大学の就職活動支援室を利用しているが、就職活動支援者側は学生の対応に苦勞している

Q あなたは就職活動に関して、大学内で以下のようなサポート・支援を受けたことがありますか。受けたことがあるものをすべてお選びください。(MA)



大学で就職支援を行っている教職員へのアンケート

Q これまでに、あなたが大学で携わった障害のある学生への就職支援について、あてはまる状況を教えてください。(MA)

学生が内定がとれないことで苦勞した	44.5%
学生とのコミュニケーションがうまくいかず苦勞した	36.0%
学生が面接を通過しないことで苦勞した	36.0%
障害者雇用の知識がなく苦勞した	35.2%
学生の状況に応じた適切なアドバイスができず苦勞した	35.2%

s247

※全体のスコアで降順ソート

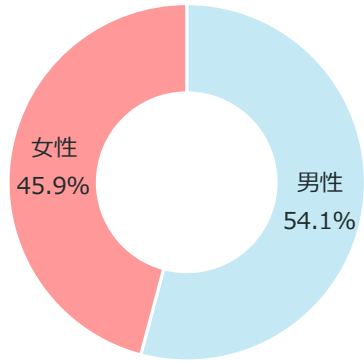


## 2. 二次調査詳細結果

# 2-1. 二次調査回答者の基本属性

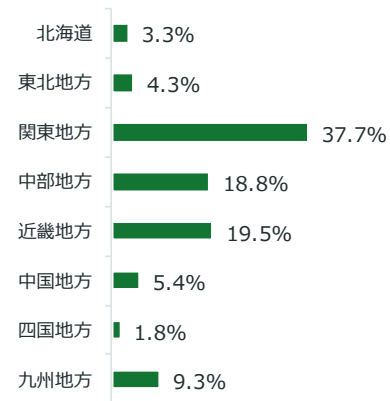
n=(728)

## ●性別

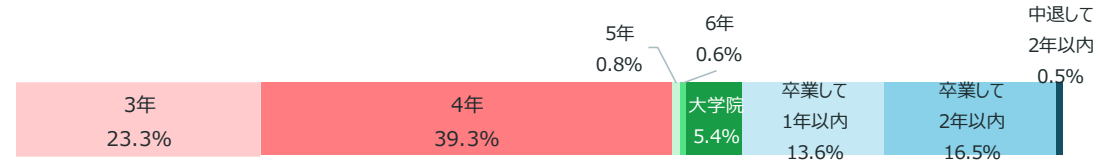


平均：22.4歳

## ●居住エリア



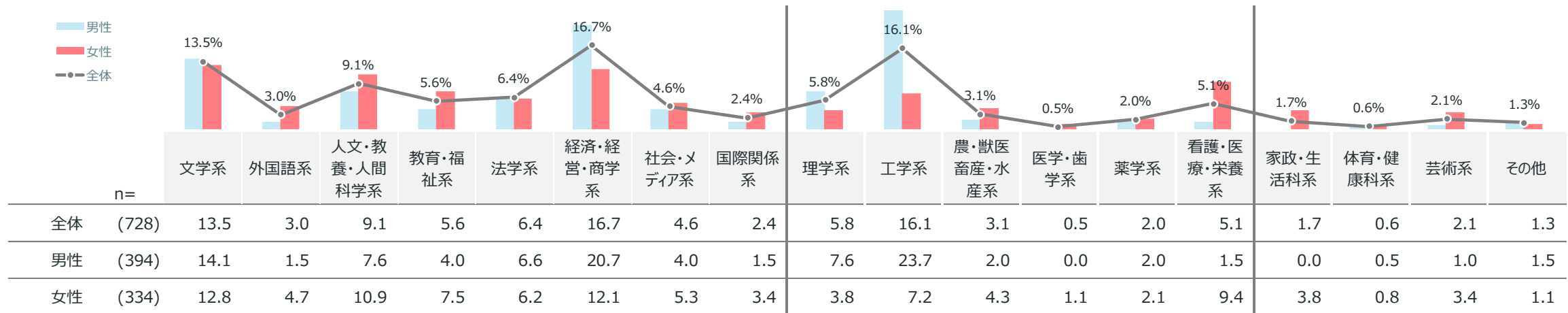
## ●学年



## ●学部



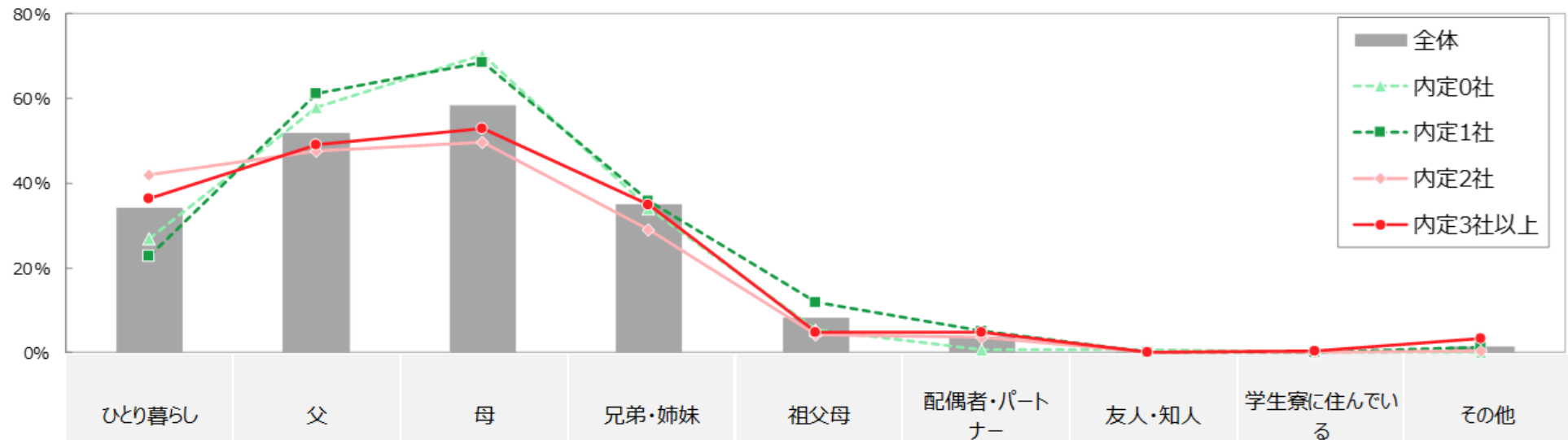
■ 男性  
■ 女性  
● 全体



(%)

## 2-2. 同居家族

- 一人暮らしをしている人が34.1%。内定を2社以上取れている人の方が一人暮らしが多めで、内定0社、1社の人は父母との同居率が高い



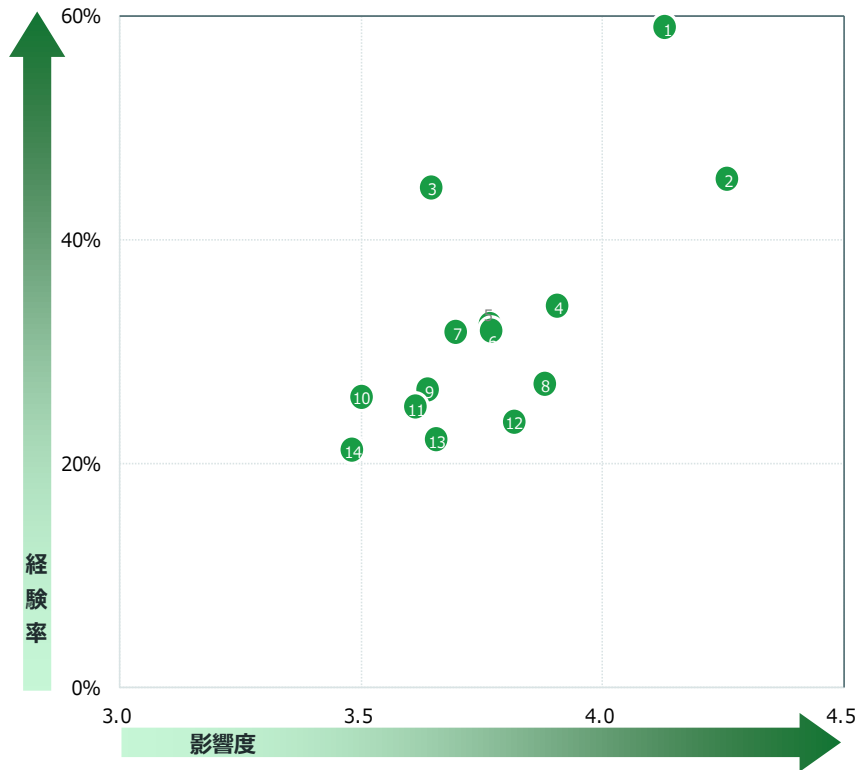
		n=	ひとり暮らし	父	母	兄弟・姉妹	祖父母	配偶者・パートナー	友人・知人	学生寮に住んでいる	その他
全体		728	34.1	51.8	58.3	35.2	8.1	3.9	0.3	0.1	1.4
内定社数 (3・5年生 除く)	0社	72	27.1	57.8	70.3	33.9	5.4	0.9	0.9	-	-
	1社	188	22.9	61.3	68.5	35.8	11.8	5.2	-	-	1.3
	2社	122	42.0	47.7	49.7	29.0	4.2	3.6	-	-	0.5
	3社以上	170	36.4	49.1	52.8	35.0	4.9	5.0	-	0.4	3.5

# 2-3. 学校生活での困りごととその影響度

- 該当率が高い「①人前で発表することがとても苦手だった」「②自分の考えをまとめることや言語化することが苦手」は、生活への影響度も高い
- 一方「③授業に集中できないことがよくあった」の影響度は比較的 low、深刻な悩みと捉えている人は少ない

Q あなたは学生生活において、以下のようなことを感じたり、経験したことがありますか。ご自身にあてはまるものをすべてお選びください。(MA)

Q 以下の学生生活における行動やお気持ちについて、どの程度あなたの生活に影響があったと思いますか。(各SA)



※左図の数字に対応する

	SQ9 該当率 (%) n=(728)	Q9 経験者ベース 影響度 * 平均 (5⇐1)	n=
1. 人前で発表することがとても苦手だった	58.9	4.13	(333)
2. 自分の考えをまとめることや言語化することが苦手	45.3	4.26	(263)
3. 授業に集中できないことがよくあった	44.6	3.65	(246)
4. ゼミなど少人数で話しあうときに、ほとんど話すことができなかった	34.0	3.91	(176)
5. 黒板に書かれない、先生が話すだけの授業を理解することが難しかった	32.4	3.77	(175)
6. 大学内で居場所がないと感じていた	31.8	3.77	(184)
7. 先生からの指示について、意図や内容が十分に読み取れないことがよくあった	31.7	3.70	(186)
8. メンタルの不調で授業に出られないことがよくあった	27.1	3.88	(148)
9. 授業など長時間座っていなければいけないときに、じっと座っていることが難しかった	26.5	3.64	(143)
10. 教科書など大切なものを持っていくことを忘れてしまうことがよくあった	26.0	3.50	(134)
11. 提出物の期限や授業内で小テストがあることなどを忘れることがよくあった	24.9	3.61	(127)
12. 授業についていくことが難しく、単位をとれないことがあった	23.7	3.82	(128)
13. レポート提出と個人の予定などの優先順位をつけられずに、レポート提出ができないことがよくあった	22.0	3.66	(122)
14. 計算をすることが極端に苦手	21.2	3.48	(122)
15. 授業など大事な予定を忘れてしまったり、遅刻してしまったりすることがよくあった	20.6	3.64	(104)
16. 必要な単位の把握や履修登録等の手続きが難しく、一人でできなかった	20.5	3.42	(113)
17. 時間割を組むことが苦手だった	19.4	3.65	(103)
18. 手書きで文章を書くことが極端に遅い	18.7	3.45	(99)
19. 教科書や資料を読むことが極端に遅い	16.1	3.73	(82)

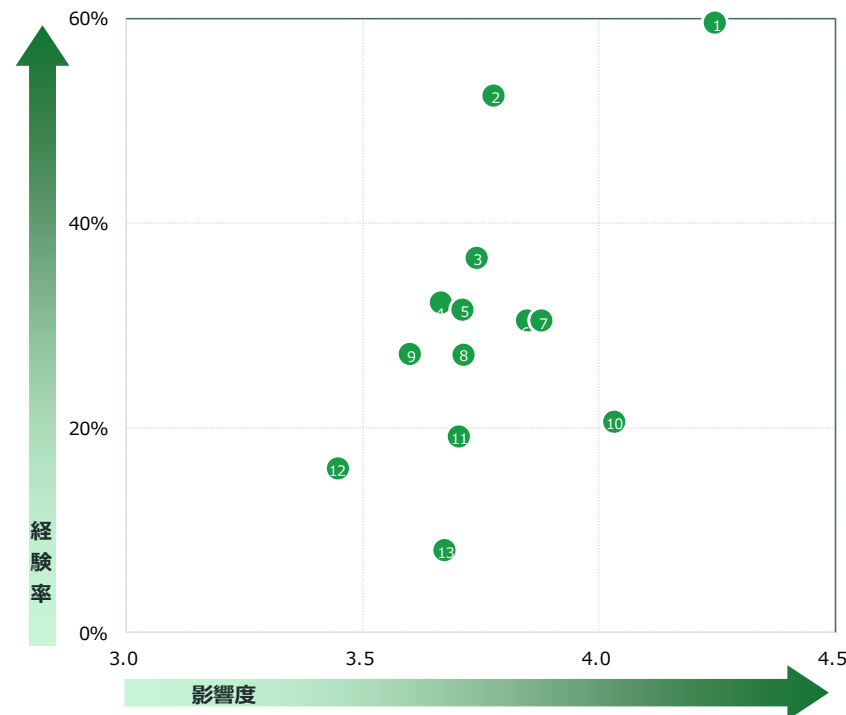
\*影響度は以下の通り重みづけした平均値  
 影響があった：5  
 やや影響があった：4  
 どちらともいえない：3  
 あまり影響はない：2  
 影響はない：1

## 2-4. 日常生活での困りごととその影響度

- 最も該当率が高い「①自分に自信がない」は、生活への影響度も最も高い。それに比べて、「②周りの人が盛り上がって話しているときに話に入れないことがよくあった」の影響度は低め
- 「⑩アルバイトをしたかったが、嫌な思いをするかもしれないと思い、できなかった」は該当率は低いが、生活への影響度は高め

Q あなたは学生時代に、学校以外の日常生活において、以下のようなことを感じたり、経験したことがありますか。ご自身にあてはまるものをすべてお選びください。  
(MA)

Q 以下の日常生活における行動やお気持ちについて、どの程度あなたの生活に影響があったと思いますか。(各SA)



※左図の数字に対応する

	SQ10 該当率(%) n=(728)	Q10 経験者ベース 影響度* 平均(5⇔1) n=
1. 自分に自信がない	59.5	4.25 (336)
2. 周りの人が盛り上がって話しているときに話に入れないことがよくあった	52.4	3.78 (293)
3. 悩み事を話せる友人がいなかった	36.5	3.74 (205)
4. アルバイトで、複数の指示をこなすことができずパニックになることがあった	32.1	3.67 (181)
5. アルバイトで、ミスをしてしまうことが多く、注意されることがよくあった	31.4	3.71 (173)
6. アルバイトで、指示された内容がわからずに戸惑ってしまうことがよくあった	30.3	3.85 (163)
7. 掃除や整理整頓が極端に苦手	30.3	3.88 (161)
8. ストレートすぎる物言いをしてしまい、話している相手に不快な思いをさせてしまうことがあった	27.1	3.71 (149)
9. 趣味などに集中しすぎて朝起きることが難しく、大事な予定に支障をきたすことがよくあった	27.0	3.60 (150)
10. アルバイトをしたかったが、嫌な思いをするかもしれないと思い、できなかった	20.5	4.03 (108)
11. 自分の発言で周りの人が黙ってしまうことがよくあった	19.1	3.71 (110)
12. 知り合いの発言などにかつとしてしまい、大きな声を出してしまうことがあった	16.0	3.45 (87)
13. アルバイトを、閉店など雇用側以外の理由で、クビになったことがある	7.9	3.68 (39)

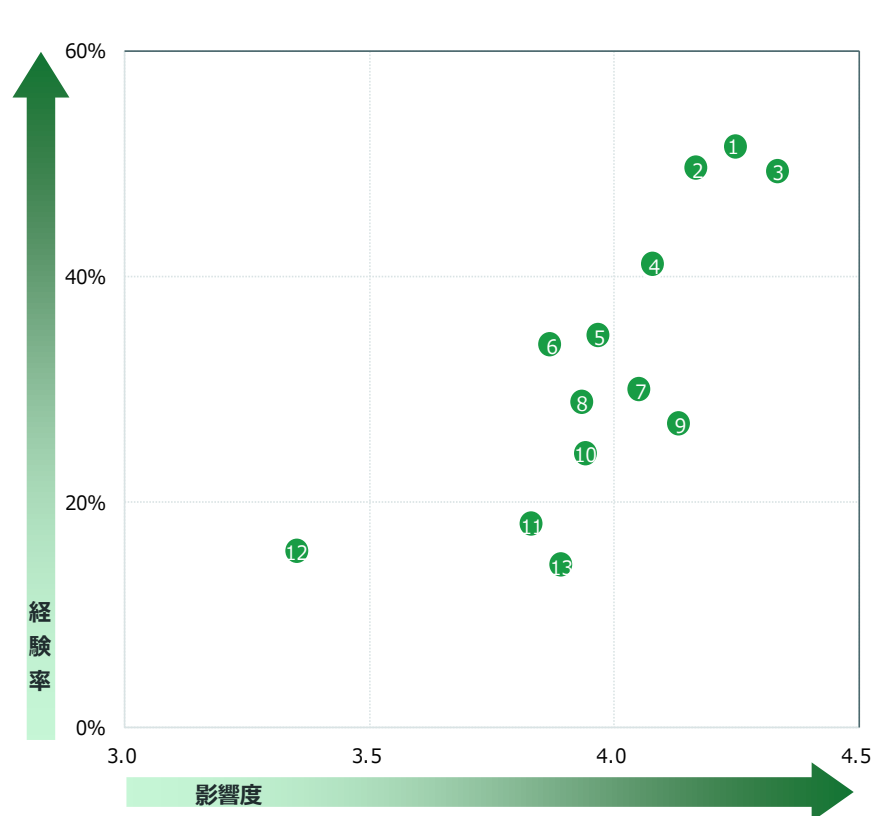
\*影響度は以下の通り重みづけた平均値  
 影響があった：5  
 やや影響があった：4  
 どちらともいえない：3  
 あまり影響はない：2  
 影響はない：1



## 2-5. 就職活動での困りごととその影響度

- あてはまる人が多い「①自分がやりたい仕事が見つからなかった」「②自分が社会で働いている姿が想像できなかった」「③就職活動を何から始めていいかわからなかった」はいずれも影響度も高い
- 「⑨知らない環境に不安があり、インターンに申し込むことができなかった」はあてはまる人の率は低めだが、影響度は高め

Q あなたは、就職活動時に以下のようなことを感じたり、経験したことがありますか。ご自身にあてはまるものをすべてお選びください。(MA)  
 Q 以下の就職活動における行動やお気持ちについて、どの程度あなたの生活に影響があったと思いますか。(各SA)



※左図の数字に対応する

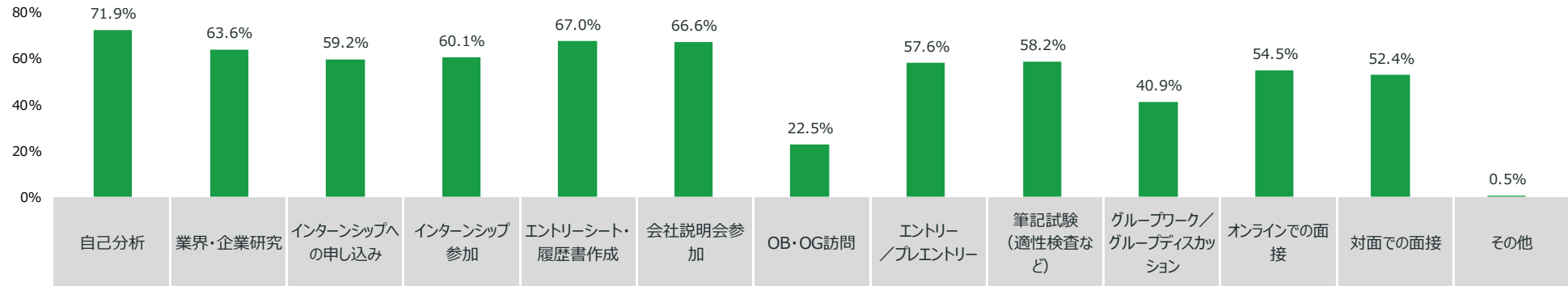
	SQ11 該当率(%) n=(728)	Q11 経験者ベース 影響度* 平均 (5⇔1) n=
1. 自分がやりたい仕事が見つからなかった	51.4	4.25 (285)
2. 自分が社会で働いている姿が想像できなかった	49.5	4.17 (282)
3. 就職活動を何から始めていいかわからなかった	49.3	4.33 (265)
4. エントリーシートを書くことにとても時間がかかった	41.0	4.08 (233)
5. 学校の授業やレポート等の課題と就職活動を並行して行うことが難しかった	34.7	3.97 (194)
6. 面接で、たくさん話してしまい、自分が何を言っているのかわからなくなってしまうことがあった	33.9	3.87 (192)
7. 面接で、何を答えていいかわからず黙ってしまったことがあった	29.9	4.05 (185)
8. 関心がある企業説明会や就職イベントがあっても、実際に足を運ぶことが難しかった	28.8	3.93 (139)
9. 知らない環境に不安があり、インターンに申し込むことができなかった	26.9	4.13 (146)
10. グループディスカッションでほとんど話すことができなかった	24.3	3.94 (141)
11. メールや電話でのやりとりで先方から何を求められているのかわからないことがあった	17.9	3.83 (94)
12. 初めての場所に地図を見て行くことが苦手で、遅刻してしまうことがあった	15.7	3.35 (80)
13. 就職活動について、親と意見があわずに困った	14.3	3.89 (77)

\*影響度は以下の通り重みづけした平均値  
 影響があった：5  
 やや影響があった：4  
 どちらともいえない：3  
 あまり影響はない：2  
 影響はない：1

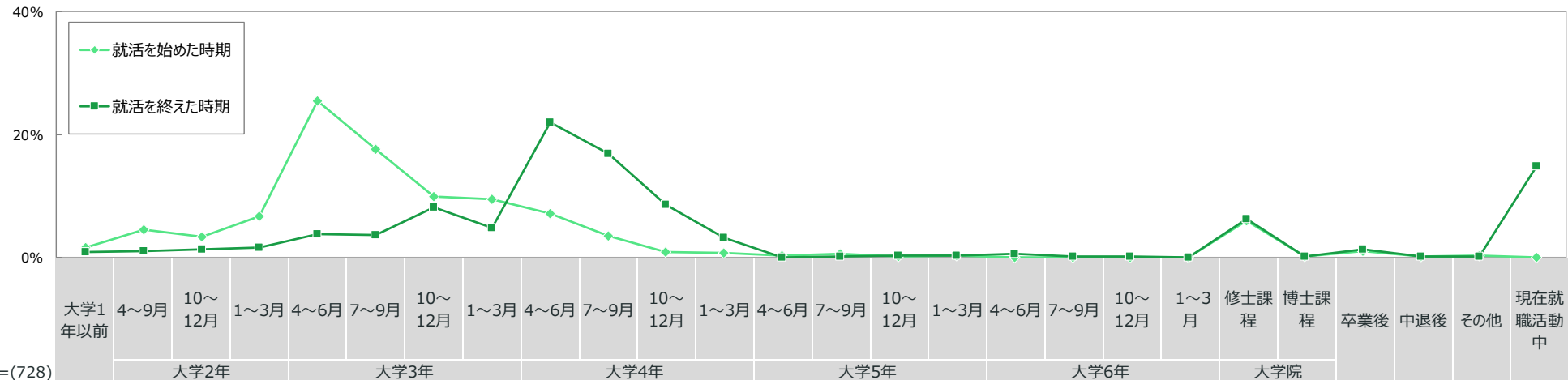
# 2-6. 就職活動で経験したこと／就職活動時期

## ● 就活で経験したこと

n=(728)



## ● 就活開始／終了時期

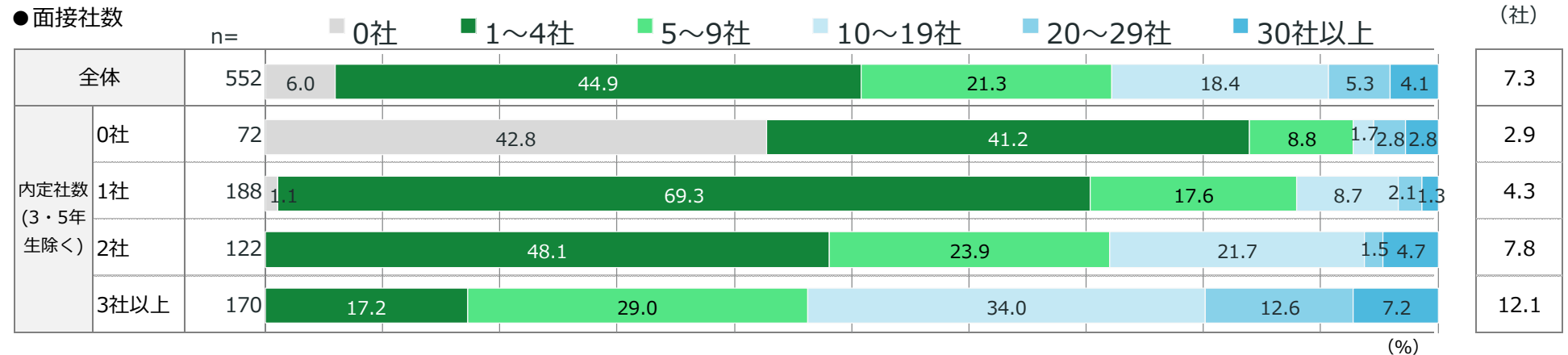
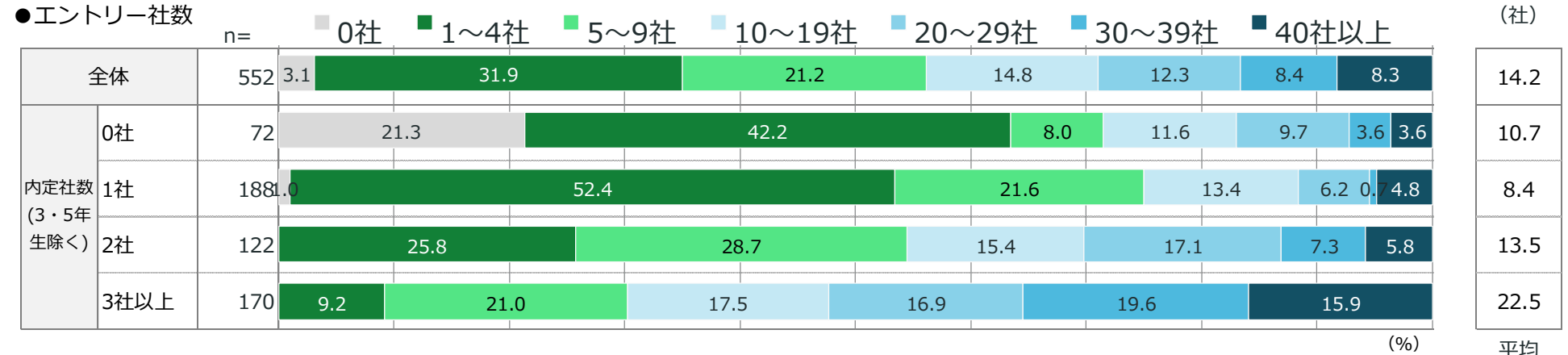


	大学1年以前	大学2年	大学3年	大学4年	大学5年	大学6年	大学院	卒業後	中退後	その他	現在就職活動中
就活を始めた時期	1.6	4.6	3.3	6.6	25.6	17.6	10.0	9.5	7.1	3.4	0.9
就活を終えた時期	0.9	1.0	1.4	1.5	3.8	3.6	8.1	4.8	22.0	16.8	8.5

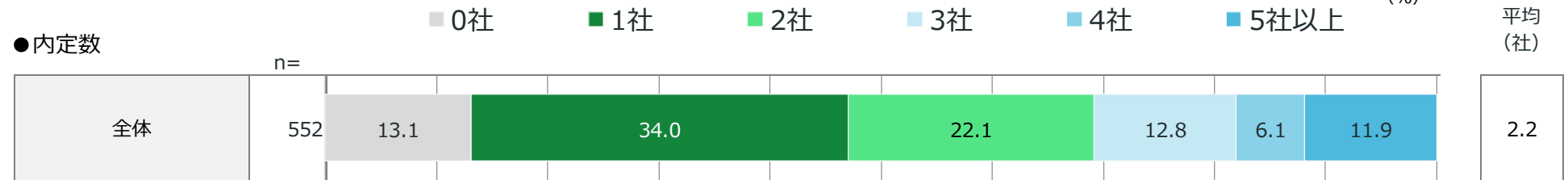
# 2-7. エントリー社数／面接社数／内定数

Q あなたの就職活動について、以下それぞれの数をお答えください。（実数）

- エントリー社数は全体で平均14.2社、面接社数はその半数で、平均7.3社
- 発達障害の診断をされたことがある人は、全体に比べてエントリー数、面接社数ともに多い
- また内定数が多いほど、エントリー数、面接社数ともに多めの傾向。内定数0社では、1社もエントリーしていない人が2割強、面接していない人が4割強を占める



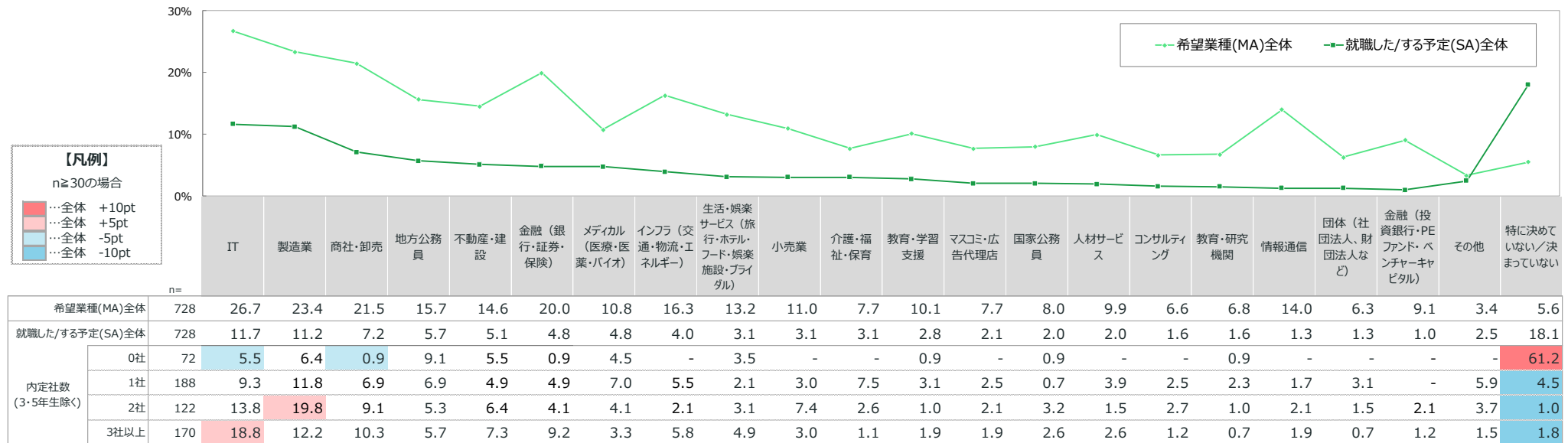
- 内定数は全体で平均2.2社



# 2-8. 希望業種／就職した業種

- 希望業種は「IT」「製造業」「商社・卸売」「金融（銀行・証券・保険）」が2割を超えて人気
- 就職した/する予定の業種も、「IT」「製造業」「商社・卸売」が上位3位  
「金融（銀行・証券・保険）」「インフラ」「情報通信」は、希望率は1割半～2割程度と高めだが、就職率は低い

Q 就職活動時にあなたが希望していた（している）業種をお選びください。  
また、すでに就職したり、就職先が決まっている方は、実際に就いた（就く予定の）業種をお選びください。

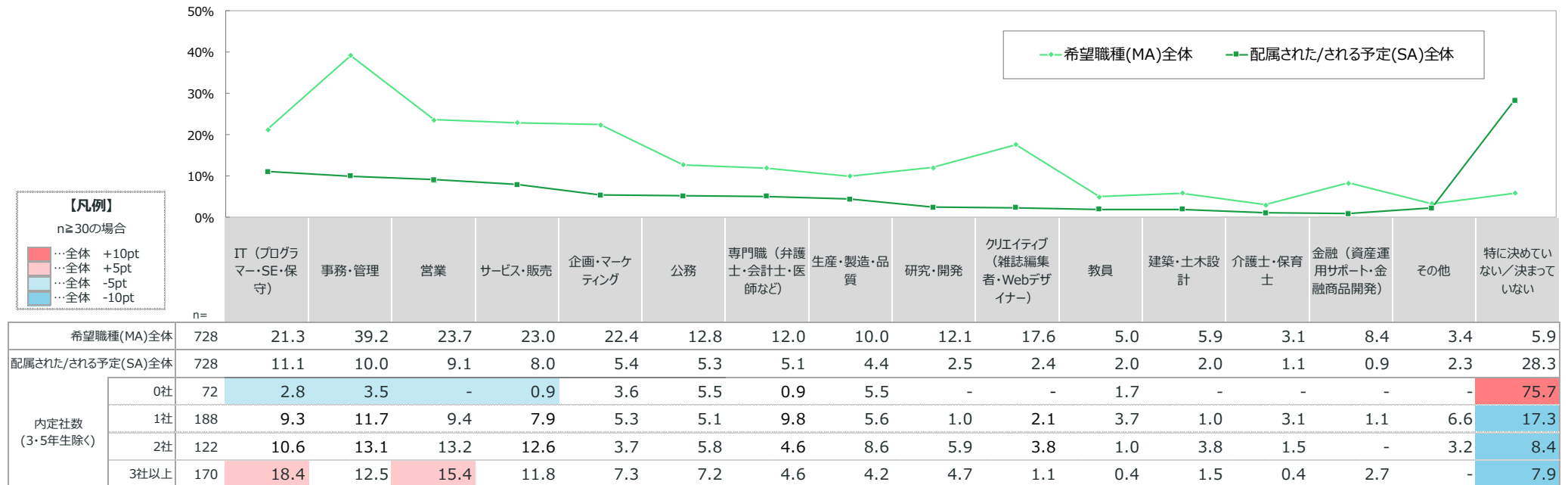


※就職した/する予定 全体のスコアで降順ソート

# 2-9. 希望職種／就職した職種

- 希望職種は「事務・管理」が4割弱で最も人気。次いで「営業」「サービス・販売」「企画・マーケティング」「IT」が2割台前半
- 一方配属された/する予定の職種は、「IT」がトップで、「事務・管理」「営業」と続く  
「事務・管理」「企画・マーケティング」「クリエイティブ」などは、希望に対して就職、配属される人が少ない傾向

Q 就職活動時にあなたが希望していた（している）職種をお選びください。  
また、すでに就職したり、就職先での配属が決まっている方は、実際に配属された（配属される予定の）職種をお選びください。

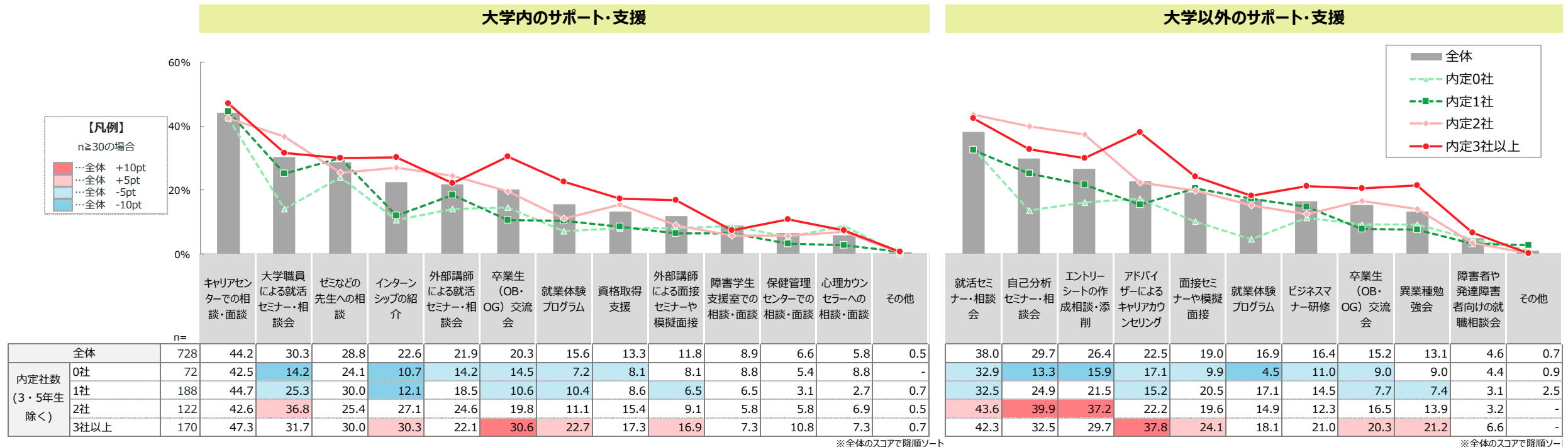


※配属された/される予定 全体のスコアで降順ソート

# 2-10. 就職活動で受けたサポート・支援

- 就活で受けたサポート・支援として、大学内では「キャリアセンターでの相談・面談」利用者が最も多く、44.2%
- 大学以外では、「就活セミナー・相談会」に参加した人が38%
- 全般的に、学内/学外ともに内定数が多い人ほど、多くのサポートを利用している傾向
- 大学内の「障害学生支援室での相談・面談」は8.9%、大学以外での「障害者や発達障害者向けの就職相談会」を利用した人は4.6%

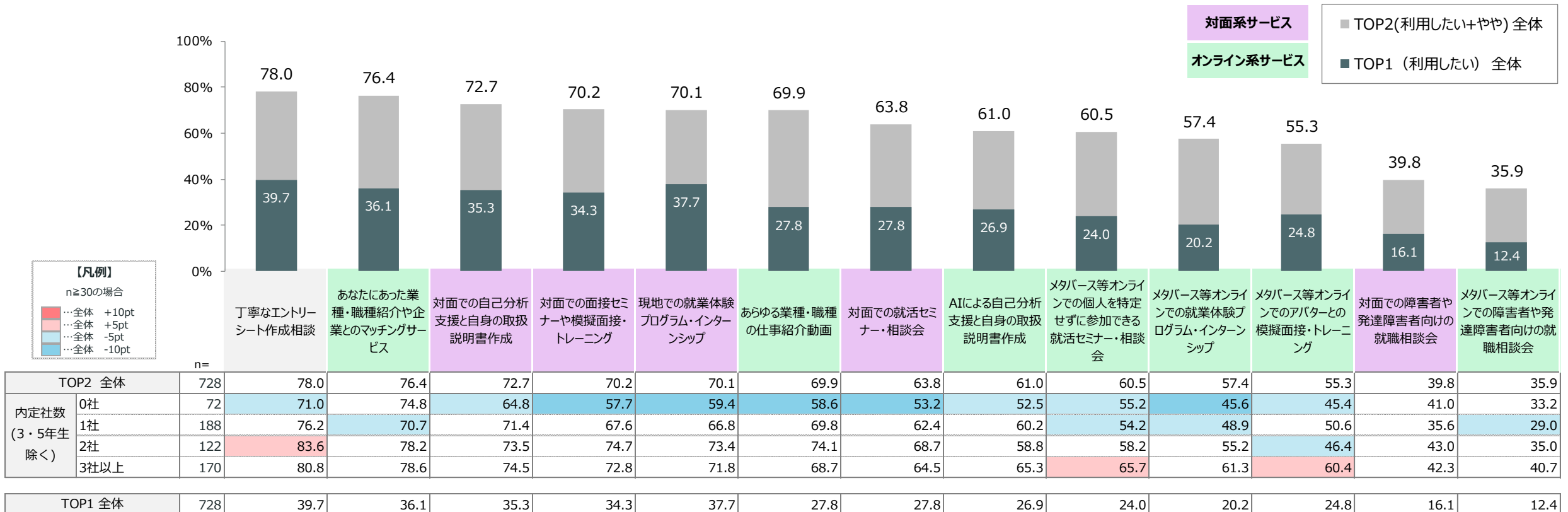
Q あなたは就職活動に関して、大学内で以下のようなサポート・支援を受けたことがありますか。受けたことがあるものをすべてお選びください。(MA)  
 Q 大学以外で以下のようなサポート・支援を受けたことがありますか。受けたことがあるものをすべてお選びください。(MA)



# 2-11. 利用したいサポート・支援

- 利用したいサポート・支援のTOP2（利用したい+やや利用したい）は「丁寧なエントリーシート作成相談」「あなたにあった業種・職種紹介や企業とのマッチングサービス」が7割台後半で人気
- 「対面での自己分析支援と自身の取扱説明書作成」「対面での面接セミナーや模擬面接・トレーニング」「現地での就業体験プログラム・インターンシップ」が7割強で続き、自己分析～面接のどのフェーズでも、サポートのニーズはうかがえる

Q あなたは、就職活動時に以下のようなサポート・支援があれば利用してみたい（みたかった）と思いますか。（5段階/各SA）



# 調査票



# 一次調査

あなたの現在のご職業をお答えください。

<学生>

- 1 大学生（四年制大学）
- 2 大学生（六年制大学）
- 3 大学生（短期大学）
- 4 大学院生
- 5 専門学校生
- 6 その他学生（FA）

<学生以外>

- 7 会社員（正社員）
- 8 公務員・団体職員
- 9 自営業・フリーランス
- 10 派遣社員・契約社員
- 11 パート・アルバイト
- 12 その他職業（FA）
- 13 専業主婦・主夫
- 14 無職

あなたの最終学歴をお答えください。図中退した場合も含めて、最後に入学した学校をお選びください。

- 1 中学
- 2 高校・高専
- 3 大学（四年制大学）
- 4 大学（六年制大学）
- 5 短期大学
- 6 大学院
- 7 専門学校
- 8 その他
- 9 答えたくない

あなたの学年を教えてください。

既に卒業／中退されている方は、大学（院）を卒業／中退してから何年になるかを教えてください。

- 1 1年
- 2 2年
- 3 3年
- 4 4年
- 5 5年
- 6 6年
- 7 修士課程
- 8 博士課程
- 9 卒業して1年以内
- 10 卒業して2年以内
- 11 卒業して3年以内
- 12 卒業して4年目以降
- 13 中退して1年以内
- 14 中退して2年以内
- 15 中退して3年以内
- 16 中退して4年目以降
- 17 その他

あなたの所属する（していた）学部/学科/専攻分野について、あてはまるものをお選びください。

すでに卒業／中退されている方は在学時のものを教えてください。

- 1 文学系
- 2 外国語系
- 3 人文・教養・人間科学系
- 4 教育・福祉系
- 5 法学系
- 6 経済・経営・商学系
- 7 社会・メディア系
- 8 国際関係系
- 9 理学系
- 10 工学系
- 11 農・獣医畜産・水産系
- 12 医学・歯学系
- 13 薬学系
- 14 看護・医療・栄養系
- 15 家政・生活科系
- 16 体育・健康科系
- 17 芸術系
- 18 その他（FA）

あなたは就職活動を体験したことがありますか。具体的に行ったことや現在行っていることをすべて教えてください。

※アルバイトの職探しは含めずお答えください。

- 1 自己分析
- 2 業界・企業研究
- 3 インターンシップへの申し込み
- 4 インターンシップ参加
- 5 エントリーシート・履歴書作成
- 6 会社説明会参加
- 7 OB・OG訪問
- 8 エントリー／プレエントリー
- 9 筆記試験（適性検査など）
- 10 グループワーク／グループディスカッション
- 11 オンラインでの面接
- 12 対面での面接
- 13 その他（FA）
- 14 就職活動は行っていない

（1）あなたが、就職活動を始めた時期としてあてはまるものをお選びください。

※就職を意識して参加した、インターンシップやセミナーなどの参加も含めてお考えください。

※途中で中断した方は、**一番最初に**活動を始めた時期をお答えください。

（2）就職活動を終えた時期としてあてはまるものをお選びください。

※内定が出ずに就活を諦めたり止めたりした方は、その時期をお答えください。

※途中で中断した方は、**一番最後に**活動を終えた時期をお答えください。

※一度就職した後に転職した方は、転職活動ではなく**一番最初に就職した時のこと**をお答えください。

- 1 就活を**始めた**時期
- 2 就活を**終えた**時期

- 1 大学1年以前
- 2 大学2年 4～9月
- 3 大学2年 10～12月
- 4 大学2年 1～3月
- 5 大学3年 4～6月
- 6 大学3年 7～9月
- 7 大学3年 10～12月
- 8 大学3年 1～3月
- 9 大学4年 4～6月
- 10 大学4年 7～9月
- 11 大学4年 10～12月
- 12 大学4年 1～3月
- 13 大学5年 4～6月
- 14 大学5年 7～9月
- 15 大学5年 10～12月
- 16 大学5年 1～3月
- 17 大学6年 4～6月
- 18 大学6年 7～9月
- 19 大学6年 10～12月
- 20 大学6年 1～3月
- 21 大学院 修士課程
- 22 大学院 博士課程
- 23 大学（院）卒業後
- 24 大学（院）中退後
- 25 その他
- 26 現在就職活動中

あなたは学生生活において、以下のようなことを感じたり、経験したことがありますか。  
ご自身にあてはまるものをすべてお選びください。

- 1 必要な単位の把握や履修登録等の手続きが難しく、一人でできなかった
- 2 時間割を組むことが苦手だった
- 3 メンタルの不調で授業に出られないことがよくあった
- 4 授業に集中できないことがよくあった
- 5 教科書など大切なものを持っていくことを忘れてしまうことがよくあった
- 6 授業など大事な予定を忘れてしまったり、遅刻してしまったりすることがよくあった
- 7 提出物の期限や授業内で小テストがあることなどを忘れることがよくあった
- 8 先生からの指示について、意図や内容が十分に読み取れないことがよくあった
- 9 レポート提出と個人の予定などの優先順位をつけられずに、レポート提出ができないことがよくあった
- 10 人前で発表することがとても苦手だった
- 11 黒板に書かれない、先生が話すだけの授業を理解することが難しかった
- 12 授業についていくことが難しく、単位をとれないことがあった
- 13 授業など長時間座っていなければいけないときに、じっと座っていることが難しかった
- 14 手書きで文章を書くことが極端に遅い
- 15 教科書や資料を読むことが極端に遅い
- 16 計算をすることが極端に苦手
- 17 自分の考えをまとめることや言語化することが苦手
- 18 大学内で居場所がないと感じていた
- 19 ゼミなど少人数で話しあうときに、ほとんど話すことができなかった
- 20 上記にあてはまるものはない

あなたは学生時代に、学校以外の日常生活において、以下のようなことを感じたり、経験したことがありますか。  
ご自身にあてはまるものをすべてお選びください。

- 1 趣味などに集中しすぎて朝起きることが難しく、大事な予定に支障をきたすことがよくあった
- 2 掃除や整理整頓が極端に苦手
- 3 周りの人が盛り上がりすぎて話しているときに話に入れないことがよくあった
- 4 知り合いの発言などにかっとなってしまい、大きな声を出してしまうことがあった
- 5 ストレートすぎる物言いをしてしまい、話している相手に不快な思いをさせてしまうことがあった
- 6 自分の発言で周りの人が黙ってしまうことがよくあった
- 7 悩み事を話せる友人がいなかった
- 8 自分に自信がない
- 9 アルバイトをしたかったが、嫌な思いをするかもしれないと思い、できなかった
- 10 アルバイトで、ミスをしてしまうことが多く、注意されることがよくあった
- 11 アルバイトで、指示された内容がわからずに戸惑ってしまうことがよくあった
- 12 アルバイトで、複数の指示をこなすことができずパニックになることがあった
- 13 アルバイトを、閉店など雇用側以外の理由で、クビになったことがある
- 14 上記にあてはまるものはない

あなたは、就職活動時に以下のようなことを感じたり、経験したことがありますか。  
ご自身にあてはまるものをすべてお選びください。

- 1 就職活動を何から始めていいかわからなかった
- 2 自分がやりたい仕事かわからなかった
- 3 自分が社会で働いている姿が想像できなかった
- 4 メールや電話でのやりとりで先方から何を求められているのかわからないことがあった
- 5 関心がある企業説明会や就職イベントがあっても、実際に足を運ぶことが難しかった
- 6 知らない環境に不安があり、インターンに申し込むことができなかった
- 7 エントリーシートを書くことにとっても時間がかかった
- 8 初めての場所に地図を見て行くことが苦手で、遅刻してしまうことがあった
- 9 面接で、何を答えていいかわからず黙ってしまったことがあった
- 10 面接で、たくさん話してしまい、自分が何を言っているのかわからなくなってしまうことがあった
- 11 グループディスカッションでほとんど話すことができなかった
- 12 学校の授業やレポート等の課題と就職活動を並行して行うことが難しかった
- 13 就職活動について、親と意見があわずに困った
- 14 上記にあてはまるものはない

大変失礼ですが、あなたは、以下に該当するような疾患や障害をお持ちですか。

- 1 医療機関等で診断はされていないがあてはまると考えられる
  - 2 医療機関等で診断されたことがある
- 
- 1 視覚障害
  - 2 聴覚障害
  - 3 肢体不自由
  - 4 LD（学習障害）
  - 5 ADHD(注意欠如・多動性障害)
  - 6 ASD（自閉スペクトラム症／アスペルガー症候群）
  - 7 精神障害
  - 8 睡眠障害
  - 9 生活習慣病
  - 10 その他
  - 11 あてはまるものはない
  - 12 答えたくない

# 二次調査

あなたの就職活動について、以下それぞれの数をお答えください。

※大学時代に就職活動を始めてから、現在までを合計してお答えください。

※公務員試験や団体への就職も含めてお考えください。

- 1 エントリー 社
- 2 面接（オンライン含む） 社
- 3 内定 社

就職活動時にあなたが希望していた(している)**業種**をお選びください。

また、すでに就職したり、就職先が決まっている方は、実際に就いた（就く予定の）**業種**をお選びください。

※転職経験がある方は、一番最初の就職先についてお答えください。

- 1 希望業種すべて
- 2 就職した/する予定

- 1 製造業
- 2 商社・卸売
- 3 金融（銀行・証券・保険）
- 4 金融（投資銀行・PEファンド・ベンチャーキャピタル）
- 5 不動産・建設
- 6 インフラ（交通・物流・エネルギー）
- 7 メディカル（医療・医薬・バイオ）
- 8 教育・学習支援
- 9 人材サービス
- 10 生活・娯楽サービス（旅行・ホテル・フード・娯楽施設・ブライダル）
- 11 コンサルティング
- 12 マスコミ・広告代理店
- 13 情報通信
- 14 IT
- 15 小売業
- 16 介護・福祉・保育
- 17 国家公務員
- 18 地方公務員
- 19 団体（社団法人、財団法人など）
- 20 教育・研究機関
- 21 その他（FA）
- 22 特に決めていない／決まっていない

就職活動時にあなたが希望していた(している)**職種**をお選びください。

また、すでに就職したり、就職先での配属が決まっている方は、実際に配属された（配属される予定の）**職種**をお選びください。

※転職経験がある方は、一番最初の就職先についてお答えください。

- 1 希望職種すべて
- 2 配属された/される予定

- 1 企画・マーケティング
- 2 事務・管理
- 3 クリエイティブ（雑誌編集者・Webデザイナー）
- 4 営業
- 5 サービス・販売
- 6 専門職（弁護士・会計士・医師など）
- 7 金融（資産運用サポート・金融商品開発）
- 8 IT（プログラマー・SE・保守）
- 9 研究・開発
- 10 生産・製造・品質
- 11 建築・土木設計
- 12 介護士・保育士
- 13 教員
- 14 公務
- 15 その他（FA）
- 16 特に決めていない／決まっていない

就職活動中のあなたのお考えや行動に、あてはまるものをすべてお選びください。

※以下「企業」には、公務員試験も含めてお考えください。

- 1 面接の時期が複数重ならないようにエントリーした
- 2 できるだけ倍率が低そうな企業を選んだ
- 3 できるだけ面接が少ない企業を選んだ
- 4 会社説明会や面接をオンラインで実施する企業を選んだ
- 5 面接よりも筆記試験が重視される企業を選んだ
- 6 筆記試験よりも面接が重視される企業を選んだ
- 7 筆記試験の種類で選んだ
- 8 仕事内容よりも社風や社員の人柄を優先して選んだ
- 9 給与等の条件よりも社風や社員の人柄を優先して選んだ
- 10 具体的に仕事内容がイメージできる企業を選んだ
- 11 企業や仕事の魅力より、自分ができそうな仕事を選んだ
- 12 実家から通える勤務地を選んだ
- 13 学生時代に身につけたスキルや資格を活かせる仕事を選んだ
- 14 自分の資質や性格を活かせる仕事を選んだ
- 15 短期間で成長/キャリアアップできる仕事を選んだ
- 16 面接には1社ずつ対策、シミュレーションをしておいた
- 17 人事担当者や面接官の雰囲気の良い会社は選考を辞退した
- 18 直前で面接などが嫌になり、キャンセル/無断欠席したことがある
- 19 就職活動を（一時的に）止めたことがある
- 20 1人で活動することが難しく、大学にサポートしてもらいながら就職活動をした
- 21 1人で活動することが難しく、親にサポートしてもらいながら就職活動をした
- 22 あてはまるものはない

あなたは就職活動に関して、**大学内**で以下のようなサポート・支援を受けたことがありますか。

受けたことがあるものをすべてお選びください。

- 1 キャリアセンターでの相談・面談
- 2 ゼミなどの先生への相談
- 3 大学職員による就活セミナー・相談会
- 4 外部講師による就活セミナー・相談会
- 5 就業体験プログラム
- 6 外部講師による面接セミナーや模擬面接
- 7 卒業生（OB・OG）交流会
- 8 資格取得支援
- 9 インターンシップの紹介
- 10 障害学生支援室での相談・面談
- 11 保健管理センターでの相談・面談
- 12 心理カウンセラーへの相談・面談
- 13 その他（FA）
- 14 サポート・支援は受けていない

では、**大学以外**で以下のようなサポート・支援を受けたことがありますか。

受けたことがあるものをすべてお選びください。

- 1 就活セミナー・相談会
- 2 自己分析セミナー・相談会
- 3 アドバイザーによるキャリアカウンセリング
- 4 エントリーシートの作成相談・添削
- 5 ビジネスマナー研修
- 6 異業種勉強会
- 7 就業体験プログラム
- 8 面接セミナーや模擬面接
- 9 卒業生（OB・OG）交流会
- 10 障害者や発達障害者向けの就職相談会
- 11 その他（FA）
- 12 サポート・支援は受けていない

就職活動において、どのようなサポート・支援があると良い（良かった）と思いますか。

実際にサービスが存在するかに関わらず、あなたご自身が利用してみたいと思うことがあれば、ご自由にお答えください。

どのような場面で、どんなサポートがあると良いと思うか、できるだけ具体的にお答えください。

1

あなたは、就職活動時に以下のようなサポート・支援があれば利用してみたい（みたかった）と思いますか。

それぞれについてお答えください。

※実際利用したサービスも含めてお考えください。

- 1 対面での就活セミナー・相談会
- 2 メタバース等オンラインでの個人を特定せずに参加できる就活セミナー・相談会
- 3 丁寧なエントリーシート作成相談
- 4 あらゆる業種・職種の仕事紹介動画
- 5 対面での自己分析支援と自身の取扱説明書作成
- 6 AIによる自己分析支援と自身の取扱説明書作成
- 7 対面での面接セミナーや模擬面接・トレーニング
- 8 メタバース等オンラインでのアバターとの模擬面接・トレーニング
- 9 現地での就業体験プログラム・インターンシップ
- 10 メタバース等オンラインでの就業体験プログラム・インターンシップ
- 11 あなたにあった業種・職種紹介や企業とのマッチングサービス
- 12 対面での障害者や発達障害者向けの就職相談会
- 13 メタバース等オンラインでの障害者や発達障害者向けの就職相談会

- 1 利用したい
- 2 やや利用したい
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり利用したくない
- 5 利用したくない

お答え頂いた、以下の学生生活における行動やお気持ちについて、どの程度あなたの生活に影響があったと思いますか。それぞれあてはまるものをお選びください。

必要な単位の把握や履修登録等の手続きが難しく、一人でできなかった

時間割を組むことが苦手だった

メンタルの不調で授業に出られないことがよくあった

授業に集中できないことがよくあった

教科書など大切なものを持っていくことを忘れてしまうことがよくあった

授業など大事な予定を忘れてしまったり、遅刻してしまったりすることがよくあった

提出物の期限や授業内で小テストがあることなどを忘れることがよくあった

先生からの指示について、意図や内容が十分に読み取れないことがよくあった

レポート提出と個人の予定などの優先順位をつけられずに、レポート提出ができないことがよくあった

人前で発表することがとても苦手だった

黒板に書かれない、先生が話すだけの授業を理解することが難しかった

授業についていくことが難しく、単位をとれないことがあった

授業など長時間座っていなければいけないときに、じっと座っていることが難しかった

手書きで文章を書くことが極端に遅い

教科書や資料を読むことが極端に遅い

計算をすることが極端に苦手

自分の考えをまとめることや言語化することが苦手

大学内で居場所がないと感じていた

ゼミなど少人数で話しあうときに、ほとんど話すことができなかった

影響があった

やや影響があった

どちらともいえない

あまり影響はない

影響はない

お答え頂いた、以下の日常生活における行動やお気持ちについて、どの程度あなたの生活に影響があったと思いますか。それぞれあてはまるものをお選びください。

趣味などに集中しすぎて朝起きることが難しく、大事な予定に支障をきたすことがよくあった

掃除や整理整頓が極端に苦手

周りの人が盛り上がり話しているときに話に入れないことがよくあった

知り合いの発言などにかっとしてしまい、大きな声を出してしまうことがあった

ストレートすぎる物言いをしてしまい、話している相手に不快な思いをさせてしまうことがあった

自分の発言で周りの人が黙ってしまうことがよくあった

悩み事を話せる友人がいなかった

自分に自信がない

アルバイトをしたかったが、嫌な思いをするかもしれないと思い、できなかった

アルバイトで、ミスをしてしまうことが多く、注意されることがよくあった

アルバイトで、指示された内容がわからずに戸惑ってしまうことがよくあった

アルバイトで、複数の指示をこなすことができずパニックになることがあった

アルバイトを、閉店など雇用側以外の理由で、クビになったことがある

影響があった

やや影響があった

どちらともいえない

あまり影響はない

影響はない

お答え頂いた、以下の就職活動における行動やお気持ちについて、どの程度あなたの生活に影響があったと思いますか。  
それぞれあてはまるものをお選びください。

就職活動を何から始めていかわからなかった

自分がやりたい仕事かわからなかった

自分が社会で働いている姿が想像できなかった

メールや電話でのやりとりで先方から何を求められているのかわからないことがあった

関心がある企業説明会や就職イベントがあっても、実際に足を運ぶことが難しかった

知らない環境に不安があり、インターンに申し込むことができなかった

エントリーシートを書くことにとっても時間がかかった

初めての場所に地図を見て行くことが苦手で、遅刻してしまうことがあった

面接で、何を答えていかわからず黙ってしまったことがあった

面接で、たくさん話してしまい、自分が何を言っているのかわからなくなってしまうことがあった

グループディスカッションでほとんど話すことができなかった

学校の授業やレポート等の課題と就職活動を並行して行うことが難しかった

就職活動について、親と意見があわずに困った

影響があった

やや影響があった

どちらともいえない

あまり影響はない

影響はない

あなたが就職活動時に困ったことやお悩みがあれば具体的に教えてください。

具体的な場面と、あなたご自身はどうしたかったのに、どうして理想通りに進まなかったのか、その原因は何だと思っ  
かなど、できるだけ詳しいエピソードも交えてお答えください。

(ただし、具体的な企業名や個人名が特定される記入はお控えください)

※これまでお答え頂いた内容と重複しても構いません。

あなたが現在同居している方を、すべてお選びください。

- 1 ひとり暮らし
- 2 父
- 3 母
- 4 兄弟・姉妹
- 5 祖父母
- 6 配偶者・パートナー
- 7 友人・知人
- 8 学生寮に住んでいる
- 9 その他（FA）

あなたが通っている／通っていた大学名をお答えください。（任意回答）